

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
大槌町地域	大槌町	H28. 4. 1～R3. 3. 31	平成 30 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	1,112 t	1,203 t	954 t	-20.7%
	1 事業所当たりの排出量	0.6 t	0.6 t	0.5 t	-16.7%
	生活系 総排出量	3,191 t	3,036 t	2,820 t	-7.1%
	1 人当たりの排出量	186.8 kg/人	183.1 kg/人	187.2 kg/人	2.2%
合 計 事業系生活系総排出量合計	4,303 t	4,239 t	3,793 t	-10.5%	
再生利用量	直接資源化量	448 t	432 t	394 t	-8.8%
	総資源化量	1,373 t	1,382 t	1,213 t	-12.2%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	289 t	200 t	138.5 t	-30.8%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

当初計画で予定していた、人口減少が目標時より 1,000 人以上の減少となり、排出量からの減少率が大きくなっていることが要因として考えられる。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 8 年度まで

次回の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画時には、計画内容の更新を図りながら、目標の達成に向けて、3 R 推進に向けた広報活動などを通じてごみ排出減を進めていく。

### （都道府県知事の所見）

ごみの排出量削減に向けて、家庭ごみ有料化の検討を進めるとともに、排出抑制や再生利用等に対する住民の意識改革により一層努められたい。

県においても、引き続きごみの排出量削減に向けて、必要に応じて助言する等して支援していくこととしたい。